

LCIFへの寄付方法および報告について

lcif2526006-2

銀行振込の場合

※記入例（lcif2526006-5）を参考にして下さい

1. MJFを含む個人寄付並びにクラブ寄付（単独）をされた場合は「クラブ用」の書式を使用して下さい。**ひと月に数人のMJF寄付をその都度送金されるクラブがありますが、なるべく月単位でまとめて送金してください。**
2. 複数クラブから寄付をされた場合は「MD／地区用」書式を使用して下さい。この場合、寄付は個人の記録になりません。
3. 必要に応じて書式の列を増やして下さい。但し、印刷・計算式の範囲の設定には注意して下さい。
4. 原則として、1回の手続きで振り込んだ寄付を報告書1件で提出して下さい。（振込後に不足が生じた場合、振込2件で報告書1枚にするのではなく、それぞれの振込で報告書を作成して下さい。）
5. 寄付タイプを必ず選択して下さい。書式の該当欄をクリックするとドロップボックス（下方向の▼）が表示されますので、「災害指定（D）」と「奉仕に力を資金（E）」から選んで下さい。寄付タイプの指定がないものは記録されません。
6. 寄付タイプで「災害指定（D）」を選ばれた場合で、特定の大災害を指定して寄付をするときは、その災害名を「適用」欄に簡潔に記入して下さい。特定の災害ではなく、災害全般を指定して寄付することも可能です。「摘要」欄に特定の災害名が無い場合は、災害全般指定として受け付けられます。尚、「災害指定」の場合、クラブシェアリング交付金対象額から外されますので、ご注意下さい。
7. 寄付の振込と報告書の提出は出来る限り同日に行うようご協力下さい。月をまたぐと、ライオンズレートの変動その他で寄付が正しく受け付けられないことがあるので、特に注意して下さい。
8. 寄付報告書がOSEAL調整事務局に届いたあと、報告書の内容と銀行への着金を確認し、必要な翻訳を行なった上でLCIF寄付者サービス課に送られます。確認の必要があった場合の連絡先として、お名前とメールアドレスまたは電話番号を必ず記入して下さい。頂いた情報はこの目的以外では使用されません。

クレジットカードの場合

1. セキュリティコード（通常カード裏面にある3桁の番号）を記入頂く書式へ変更されています。クレジットカード会社の要請による変更のため、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

2. 国際協会ではセキュリティの観点から、メールやFAXで頂いたクレジットカード情報は手続きが済み次第全て安全に削除しておりますが、国際協会のウェブサイトで直接寄付して頂くことを推奨しています。

ライオンズクラブ国際協会ウェブサイト寄付ページ<<https://www.lionsclubs.org/ja/donate>>

ライオンズレート変更に伴う注意点

ライオンズレートが6桁の表示に変更となったことに伴い、振込額の相違が多々見受けられます。MJFを同時に複数口数ご送金される場合、毎月届くレート換算表を使用して頂いても過不足が生じる場合があるので、寄付報告書に**小数点以下6桁までのライオンズレートを正しく入力**し、自動計算された**振込合計金額欄の日本円を送金**して頂きますと不足が生じることはございません。尚、2名以上の個人寄付(MJFを含む)を合算してのご送金の際にレート換算による端数が生じた場合の端数分はクラブ寄付として処理されますのでご了承下さい。

LCIF寄付報告に関するお問い合わせはOSEAL調整事務局までお願いします。

ライオンズクラブ国際協会OSEAL事務局内 LCIF日本事務局
(担当：箕輪 絹子 様、塚田 加奈子 様)

メールアドレス： LCIFTokyo@lionsclubs.org
(大文字小文字どちらでも可)

電 話： 03-4589-4990
FAX： 03-4540-6766
(平日9：00～17：00)

～キャビネット事務局からのお願い～

報告書には\$1,000未満の累積金額の記入欄がございませんので、必ず各クラブにて会員の累積金額の記録を控えて頂きますようお願い致します。

また、報告書のMJF回数欄にはMJF(\$1,000単位)の寄付を送金する場合と累積金額が\$1,000に達する寄付を送金した場合のみご記入をお願い致します。累積金額が\$1,000達成の場合はその旨を摘要欄にご記入下さい。

LCIF寄付は通年受け付けていますが、年度末の送金は処理が間に合わず次年度分として計上されることがあるため、**年度内の寄付は6月中旬までに送金を完了させることが望ましいです。**